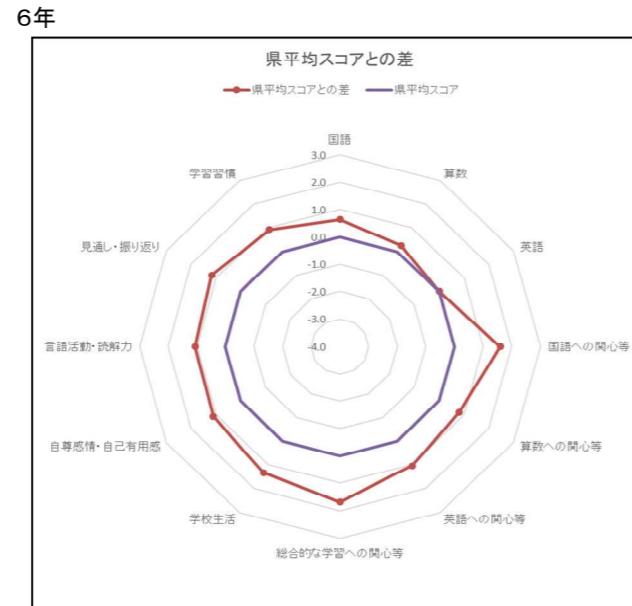
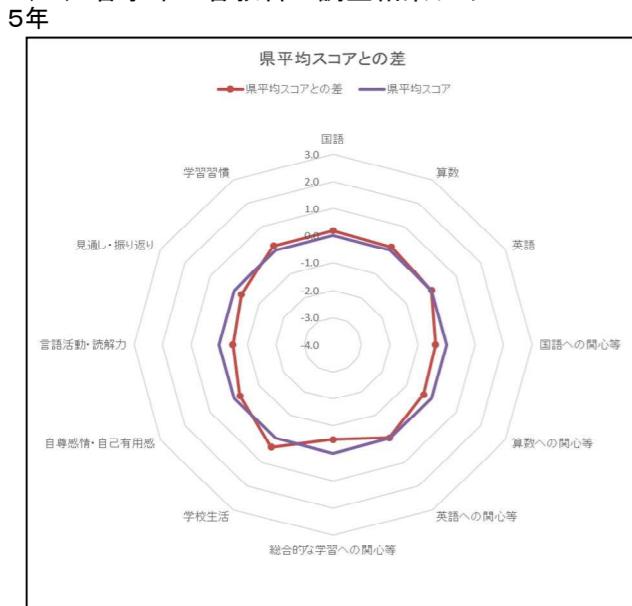


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立島根小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

成績と課題(○: 成果、●: 課題)		対策
5年 国語	○無回答率が低く、問題を解こうとする意欲が高い。 ○直近に学習した内容についてよく理解している。 ●複雑な構造の文について、語句と語句の関係を正しくつかむことができにくい。 ●自主的な国語の学習ができにくい。	・様々な文例を用いて、主語・述語や修飾・被修飾の関係について図示するなど繰り返し指導する。 ・簡単な作文や日記などを通して、文章をわかりやすく書けるように指導を積み重ね、日常的な国語への関心を高める。
	○直近に学習した内容についてよく理解している。 ●立体图形について部分と部分の関係をイメージとしてとらえることが苦手である。 ●積が1より小さくなる小数のかけ算の意味理解が不十分である。 ●算数の学習への関心が低い。	・図形を描いたり、切ったり、並べたり、作ったり、展開したりするなどの数学的活動を取り入れる。 ・基準量より比較量が減少する場合もかけ算で解くことができることを理解させる。 ・自分の考えを説明したり、ノートに記述したりする活動を取り入れた授業展開を工夫し、学習への意欲を高める。
6年 国語	○既習の漢字の読み書きが定着している。 ○話し手の意図や文章の内容に即して表現を読み取ることができる。 ●読み取った文章の内容を簡潔にまとめることが苦手である。 ●段落相互の関係を考えながら文章を読むことに課題がある。	・問われている内容を、指定された言葉を使って限られた字数でまとめて書く指導を行う。 ・読解の際に、文章の中から根拠を示して自分の考えを説明したり書いたりする活動を取り入れる。 ・文章構成を図式化・キーワード化してまとめる活動を取り入れる。
	○基礎的な計算力が高い。 ○問題の意図を読み取り、解決への道筋を立てることができている。 ●分数と小数の変換が苦手である。 ●小数倍の意味理解が不十分である。	・1つの数をいろいろな見方で表す活動を取り入れる。 ・「倍」の意味を図と関連付けたり、言葉で説明したりする活動を多く取り入れる。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

	国語	算数
5年生	本校	63
	松江市	61
	島根県	60

受検者数
5年生 16 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

	国語	算数
6年生	本校	63
	松江市	52
	島根県	51

受検者数
6年生 20 人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

成績と課題(○: 成果、●: 課題)		対策
5年 授業改善に 関わる事項	○国語の学習に対してはまじめにチャレンジする気持ちをもって取り組んでいる。 ●受け身の姿勢になることが多い。 ●めあてや課題は理解しているが、ふり返りが意識されていない。 ●公式や定義の内容が理解できていない。	・前学年の復習も取り入れながら、基本的な技能を確実に身に付けさせ、自信をもって授業に臨めるようにする。 ・授業者がふり返りを意識した授業づくりを心がける。
	○学習に取り組む時間が長い。 ●ながら勉強をしている可能性がある。 ●与えられた学習はできるが、自分で考えて学習したり発展的な内容に取り組んだりすることは難しい。	・ながら勉強をしていないか実態調査をし、学習の仕方を指導する。 ・共通の課題を継続しつつ、自学がんばり週間などで自分で考えて取り組もうとする意識を高める。
6年 授業改善に 関わる事項	○自分の考えを発表する機会を与えられ、自分たちで活発に交流しながら考えを深めている。 ○めあて・ふり返りが意識できている。 ○算数では、粘り強く取り組んだり工夫したりして解いている。 ●算数についてよくわかっているが、好きだと答えた児童は少ない。	・子どもの興味や関心を引き出す授業の導入時の工夫をする。 ・小グループでの活動で教え合ったり活発な討論を促したりすることで、自分たちで課題解決できたと実感できるようにする。
	○自主的に計画を立てて学習に取り組んでいる。 ○復習を大切にしながら家庭学習に取り組んでいる。 ●1時間未満の割合が高い。	・共通課題以外の自学について、学習内容を自分で決めたり、課題解決の達成感を味わえるようにしたりして、進んで取り組む意欲と態度を育てる。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

